

宅地上昇 南加賀に波及



宅地造成が進められている白山市相木町

石川県内公示地価

県内住宅地の上昇地点は、増加した。このうち最多54地点の65地点から80地点に、地点の金沢に次いで多かったのが野々市の8地点(前年比横ばい)で、小松が6地点(同4地点増)、白山が4地点(同2地点増)で続いた。昨年、上昇地点ゼロだった能美は2地点だった。

最高価格地点

■価格上位地点 住宅地	価格	前回価格	変動率
①金沢市彦三町1丁目	170	15.6	9.0
②金沢市駅西本町3丁目	170	—	—
③金沢市広岡1丁目	159	15.0	6.0
④金沢市長土堀1丁目	141	13.6	3.7
⑤金沢市石引4丁目	139	13.5	3.0

■価格上位地点 商業地	価格	前回価格	変動率
①金沢市本町2丁目	1030	95.5	7.9
②金沢市香林坊2丁目	835	75.5	10.6
③金沢市武蔵町	700	55.0	7.7
④金沢市広岡1丁目	670	60.0	11.7
⑤金沢市片町2丁目	660	51.0	8.2

■変動率下位地点 住宅地	変動率	前回変動率	価格
①珠洲市飯田町式九部	▲5.1	▲4.9	1.2
②穴水町川島	▲5.0	▲4.8	1.8
③金沢市窪1丁目	▲5.0	▲4.5	3.0
④珠洲市上戸町北方式	▲5.0	▲5.3	1.5
⑤志賀町富来地頭町	▲4.7	▲4.0	0.8

■変動率下位地点 商業地	変動率	前回変動率	価格
①珠洲市飯田町春参部	▲6.2	▲5.9	1.9
②珠洲市野々江町	▲6.1	▲5.2	1.5
③穴水町大町	▲5.7	▲5.0	2.1
④志賀町高浜町	▲4.3	▲4.1	2.2
⑤能登町宇津新巻	▲4.2	▲4.9	3.1

価格は1平方メートル当たり、単位万円。1000円未満は切り捨て。▲はマイナス、変動率％。金沢市駅西本町3丁目は新規調査地点のため前年と比較できない。

野々市以南で20地点 新幹線延伸効果に期待

19日に発表された石川県内の公示地価では、南加賀地域の住宅地で上昇傾向が目立った。商業施設の増加や区画整理の進展に伴って若い世代を中心に宅地ニーズが高まっており、野々市以南では前年より8地点多い20地点がプラスとなった。今後は北陸新幹線の敦賀延伸による経済効果の波及も期待されており、不動産関係者からは「上昇基調は当面続くだろう」との見方も出ている。

「地価の高騰が続いている金沢から比較的安価な野々市、白山へ土地を探す動きが広がっているようだ。県土地建物取引業協会の新谷健二会長はこう話す。市町別の平均変動率は、白山市がマイナス0.3%からプラス0.1%となり、2005年の市町村合併以降初めて上昇に転じた。野々市市は6年連続の上昇で、県内トップのプラス3.8%となった。場所によっては、既に土地が手に入りづらい。ニューハウス工業(金沢市)の村上哲也社長は「野々市や白山の幹線道路沿いや駅周辺など利便性が高い場所は難しい」と明かす。白山市の松任駅北相木第2地区では総面積約13・2畝の大規模な土地区画整理事業が計画されている。駒澤副社長は「小松市内でも大規模な宅地造成の計画があり、大きな商機になる」と期待を込めた。

市町別の平均変動率の順位 (単位: %)								
住宅地		商業地		全用途				
順位	市町名	平均変動率	順位	市町名	平均変動率			
1	野々市市	3.8	1	金沢市	4.5	1	野々市市	2.9
2	金沢市	2.0	2	野々市市	0.7	2	金沢市	2.6
3	津幡町	1.6	3	津幡町	0.4	3	津幡町	1.1
4	白山市	0.1	4	能美市	▲0.6	4	内灘町	0.0
5	内灘町	0.0	5	白山市	▲0.8	5	白山市	▲0.1
6	小松市	▲0.2	6	加賀市	▲0.8	6	小松市	▲0.3
7	能美市	▲0.6	7	小松市	▲0.8	7	能美市	▲0.6
8	かほく市	▲0.6	8	川北町	▲0.9	8	かほく市	▲0.8
9	川北町	▲1.1	9	かほく市	▲1.5	9	川北町	▲1.0
10	七尾市	▲1.9	10	七尾市	▲1.8	10	七尾市	▲1.9
11	加賀市	▲2.3	11	輪島市	▲3.2	11	加賀市	▲2.0
12	能登町	▲3.3	12	羽咋市	▲3.9	12	能登町	▲3.5
13	羽咋市	▲3.3	13	志賀町	▲4.0	13	羽咋市	▲3.5
14	輪島市	▲3.8	14	能登町	▲4.2	14	輪島市	▲3.6
15	志賀町	▲3.9	15	穴水町	▲5.7	15	志賀町	▲3.9
16	穴水町	▲4.7	16	珠洲市	▲6.2	16	穴水町	▲5.0
17	珠洲市	▲5.1	17	—	—	17	珠洲市	▲5.6

※継続標準地から算出。中能登、宝達志水町は調査地点がない。内灘町は商業地の調査対象なし。同じ変動率で順位が異なるのに小数点第2位以下の四捨五入によるもの。▲はマイナス

野々市27年ぶりプラス 商業地 上昇の8割超は金沢

野々市は商業施設の集積でにぎわいが増している。大規模店舗などが立ち並び、金沢は29地点の75%に当

石川県内の商業地を市町別にみると、金沢市、野々市市、津幡町が上昇した。上昇率は金沢4.5%、野々市0.7%でいずれも前年を上回り、津幡は前年と同じ0.4%だった。野々市は旧野々市町時代の1992年以来、27年ぶりの上昇となった。上昇29地点の84%を金沢が占めた。

本町4丁目、低層店舗と住宅が混在する本町3丁目、営業所や工場が多く立地する徳用1丁目の全3地点が上昇した。いずれも前年は横ばいだった。金沢は29地点の75%に当

半(一)に地価の推移を比較できる石川県内の14地点をみると、今回の公示地価は2018年7月時点から2.8%上昇した。同1月からの半年間には2.0%の上昇だったため、この半年間で伸び率は拡大した。工業地1.4%上昇

石川県内の工業地(9地点)の平均変動率は、21年ぶりにプラスに転じた前年に続き、0.1%から1.4%に拡大した。上昇地点は1地点から7地点に増えた。地価公示石川分科会の武田昭男代表幹事によると、金沢市内の工業地はほぼ売上の状況が続いている。

北陸経済



最新3Dプリンター70人が使い方を学ぶ 石川県工業試験場見学会 石川県工業試験場の県産業創出支援機材の「3Dプリンターラボ見学会」写真。19日、金沢市の同試験場で開かれ、県内外の製造業関係者ら約70人が最新の3Dプリンターや品質検査機器の使い方を学んだ。4月から企業の利用を受け付ける。

ゴルフ場の管理などを手掛けるエイチ・ジェイ(千葉県市原市)は19日、山代ゴルフ倶楽部(加賀市)を運営するNRP(東京)から同倶楽部の全株式を取得した。取得金額は非公表。同倶楽部の運営はエイチ・ジェイに引き継がれる。

山代ゴルフ倶楽部全株式を取得 エイチ・ジェイ ゴルフ場の管理などを手掛けるエイチ・ジェイ(千葉県市原市)は19日、山代ゴルフ倶楽部(加賀市)を運営するNRP(東京)から同倶楽部の全株式を取得した。取得金額は非公表。同倶楽部の運営はエイチ・ジェイに引き継がれる。